1. 授業時数特例校制度導入の考え

(1) 実施の目的

- ・「言語能力」、「情報活用能力」、「問題発見・解決能力」の育成と「生命尊重教育」、「心身健康保持増進教育」、「教科等横断的な教育」「探究的な学習活動」の充実

(2) 解決を図る学校課題

- 学力面の課題として、「知識・技能の定着」と「学びに向かう力の育成」
- ・全国学調で、令和6年度は国語が全国比86.1、数学が93.3
- ・NRTは、学年総合で理科以外の教科で偏差値50を切っている。
- ・全国学調の生徒質問紙で、「自分で学習を進める」「自分で考え、自分から取り組む」「自分で計画を立てる」といった項目で肯定回答が全国を下回った。

(3) 保護者・地域住民への周知

- ・参観日における全体懇談会にて保護者に説明（令和6年12月11日）
- ・第3回学校運営協議会にて委員に説明（令和6年12月16日）
- ・上幌向中学校学校だよりVOL.12に掲載（令和6年12月24日発行）

2. 各教科等年間授業時数

上段…学校教育法施行規則に定める標準授業時数 下段…変更後の授業時数（授業時数の増減）

学年		第1学年	第2学年	第3学年
各教科の授業時数	国語	140	140	140
		135 (-5)	135 (-5)	140
	社会	105	105	140
		100 (-5)	100 (-5)	140
	数学	140	105	140
		135 (-5)	105	140
	理科	105	140	140
		105	135 (-5)	140
	音楽	45	35	35
		45	35	35
美術	45	35	35	
	45	35	35	
保健体育	105	105	105	
	100 (-5)	100 (-5)	105	
技術・家庭	70	70	35	
	70	70	35	
外国語	140	140	140	
	135 (-5)	135 (-5)	140	
特別な教科である道徳の授業時数		35	35	35
		35	35	35
総合的な学習の時間の授業時数		50	70	70
		75 (+25)	95 (+25)	70
特別活動の授業時数		35	35	35
		35	35	35
合計		1015	1015	1015
学校行事		19	22	20
生徒会活動		13	13	12

第1学年の余剰を含めた総授業時数 [1078時間] 余剰時数 [63時間]

第2学年の余剰を含めた総授業時数 [1082時間] 余剰時数 [67時間]

第3学年の余剰を含めた総授業時数 [1041時間] 余剰時数 [26時間]